

食*はぐくみ通信 ❤ 特別号⑨

令和3年2月

1月の給食週間中、給食や食にちなんだ本を図書室の入口に展示していました。その中から子どもたちがよく見ていた本、おすすめの本を紹介します。

● 給食週間にちなんだ図書を展示しています



来週は給食週間です。
り口に展示しています。
展示されている本以外
もあるので、探して読んで

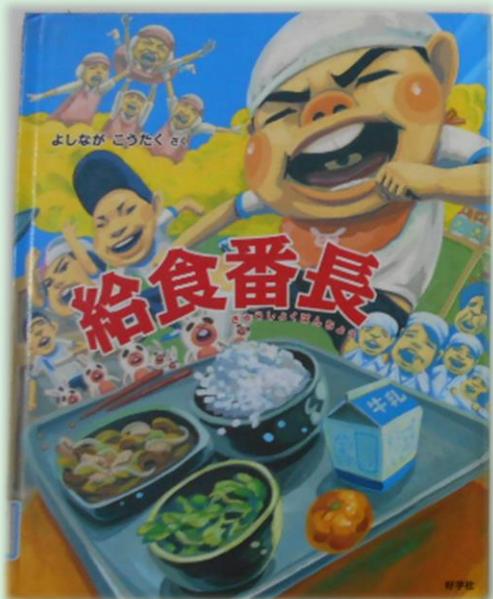


【やさいのおなか】 作・絵：きうち かつ、出版社：福音館書店



ようじむえほん ていがくねん
幼児向け絵本ですが、低学年
の子どもたちも大好きです。
やさい だんめんず
野菜のモノクロの断面図（おな
か）のイラストがとても印象的で
す。
だんめんず しょくいく じゅぎょう りょくおう
断面図は、食育の授業の緑黄
しょくやさい たやさい みわ
色野菜とその他の野菜の見分け
かた つか
方でも使っています。

【給食番長】 作：よしなが こうたく、出版社：好学社



きゅうしょく のこ ねんせい
給食を残してばかりの 1 年生
が、ひよんなことから自分たちで給
しょく つく きゅう
食を作ることに…。
こ きゅうしょく つく くろう
子どもたちが給食を作る苦労や
こ きも き
そこに込められた気持ちに気づくま
ようす えが えほん はく
での様子を描いた絵本です。迫
りょくまんてん え ぶん としょしつ
力満点の絵と文で、図書室でも
にんき さつ
人気の1冊です。

おな たいちよう
同じシリーズで、おそうじ隊長、
だんちょう
あいさつ団長などもあります。

【いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日】

原案：坂本 義喜、作：内田 美智子、

絵：魚戸おさむとゆかいななかまたち、出版社：講談社



スライスされ、パックに入った肉し
か目にしない私たちにとって、そこ
から命を感じるのは容易ではあり
ません。

これは、食肉センターに勤めて
実際に命を解くことを仕事にされ
ている坂本さんのおはなしです。
保護者の方も一緒に読んでい
ただきたい絵本です。

【菌の絵本（こうじ菌）】

監修：北垣浩志、絵：早川純子、出版社：農文協



和食に欠かせない清酒や甘
酒、みそ、醤油、みりん、酢などは
すべてこうじ菌を利用しています。
日本の国菌であるこうじ菌につ
いて、種類や歴史から甘酒の作り
方まで書かれており、和食のよさ
を再確認できる本です。

いち つく せき の よしはる
【カレーライスを一から作る：関野吉晴ゼミ】

ちよしゃ まえ だ あ き しゅっぱんしゃ しゃ
著者：前田亜紀、出版社：ポプラ社



もじどお こめ やさい にく
文字通り、米も野菜も、肉も、
うつわ ぜんぶ いち つく
器もスプーンも…全部、一から作
だいがく お
った大学ゼミを追ったドキュメンタリ
えいが しょせきか
ー映画の書籍化です。
しょうがくせい よ じ おお
小学生でも読めるように字も大
きく、ルビもついています。

よ き
読みながら、いろんなことに気づ
かされ、読み終わったらカレーライ
スが食べたくなるような本です。

おまけ！【おかわりへの道】^{みち}

さく やまもとえつこ え しもひら しゅっぱんしゃ けんきゅうしょ
作：山本悦子、絵：下平けーすけ、出版社：PHP研究所



さくねん どまつ ほん よ
昨年度末、「この本を読んだら、
きゅうしょく ぜんぶた 給食を全部食べられるようになっ
た！」と言われて、びっくりして手に
と ほん 取った本です。

ほん も ちから じっかん いっさつ
本の持つ力を実感した一冊で
と しょしつ もあります。図書室にはないので
しうかい すが、おまけとして紹介します。